



輝け！北っ子

平成31年1月22発行

1月号

発行責任者 紺野 宗作

北っ子あいさつ見守り隊ありがとうございます



「北っ子あいさつ見守り隊」の阿相利和さんは、雨の日も風の日も毎日欠かさず、1年生から6年生の下校時刻に合わせて、自宅近くであいさつを交わしながら子ども達を見守ってくださっています。このたび、この活動が、公益社団法人「小さな親切」運動本部福島県支部により推薦を受け、「小さな親切賞」を受賞されました。本当にありがとうございます。6月に募集した「北っ子あいさつ見守り隊」は100人を超えるご登録をいただき、朝の登校に付き添っていただける方、交差点に交通安全指導を兼ねて立っていただける方など徐々に広がりを見せています。子どもを見守る雰囲気が高まっており、本当に感謝の気持ちで一杯です。この活動をさらに拡充し、安心安全な地域づくりに貢献していきたいと思ひます。

二本松婦人会のみなさんへの感謝の会



家庭科の学習支援をいただいた二本松婦人会のみなさんに感謝する会が開催されました。これまで、のべ100人を超える支援をいただきました。当日は、給食を試食してもらいながら児童と楽しく会食。一人一人が感謝の気持ちを手紙にして手渡しました。

家庭科のおばちゃん先生になって

竹田支会 菅野 栄子

二本松北小学校より5年生の家庭科の授業の手伝いの依頼があり、婦人会の事業としては初めてのボランティア活動に参加しました。

第1回目6月20日。孫のようにかわいい生徒さんの前で自己紹介を「おばあちゃん先生です。よろしくお願いします。」のあいさつからはじまりました。

最初は手縫いによる基礎縫いと、小物づくりを行いました。ペンケース、ティッシュ入れ等、思い出の品を上手に仕上げました。

2学期にはミシンによるエプロンづくりを行いました。ミシンの台数が少ないため、皆でゆずり合い交代しながら、仲よく使用しました。

最終日には完成したエプロンを試着し、お互いの出来具合をほめ合いました。その満足そうな顔を見て私たちもうれしくなりました。

「お家でもエプロンを掛けてお料理作りやお掃除の手伝いをやってくださいね」と声をかけました。

日直当番さんの指示による「ありがとうございました。」の感謝の言葉を受けて、すがすがしい気持ちで学校を後にしました。素直で、元気な明るい子ども達との触れ合いが、私にとって楽しく、そして生きがいを感じた時間でした。また次回も依頼されたらぜひ協力したいと思います。

二本松婦人会の広報誌に寄稿された菅野栄子さんの文章を掲載させていただきました。学校としては、担任一人では手がまわらないところを援助いただき、家庭科の授業そのものの質が向上し、よりレベルの高い作品が仕上がりました。そして、何よりもうれしいことが、二本松婦人会の人にとっても、この活動が「生きがいづくり」につながっていたということです。これからも今回のように、地域の方々と手を携えて子どもの教育を充実させていきたいと思えます。

素晴らしき伝統の奉仕活動！

本校では、6年生が、朝登校すると素早く運動着に着替え、担当場所で掃除を始めます。この6年生による朝の清掃ボランティアはこれまでの卒業生から引き継ぎ、北小の伝統となっています。不満そうな顔をする子など一人もいません。校舎は古いですが、ごみやほこりがない学校は気持ちがよいものです。

私がそれ以上感心するのは、掃除の仕方がともしっかりできているということです。ほうきのはき方、雑巾のかけ方など「さすが、6年生」です。身についた清掃の仕方は一生の宝です。

